令和元年度事業報告書

（令和元年４月１日から令和２年３月３１日）

特定非営利活動法人幸ハウス

1. 事業の成果

令和元年度は昨年と同程度の、医療支援事業及び相談支援事業を実地いたしました。相談支援事業に関しては幸ハウス富士を継続して設け続けてきた結果、地域への認知度が向上し、積極的な広報活動をしなくても、安定した新規及び継続利用者が訪れるようになりました。そしてそれにより、がん患者、及びそのご家族４６４名に相談支援事業を提供することができました。

また、最後まで自分らしく生きていかれる人を地域の中で増やすという目的のもと、今年は４１４（良い死）カードの開発に力をいれました。自分らしい最期を迎えるためには、そこに至るまでの日々の日常の中で、自らが大切にしたい思いを大切にすることが不可欠であり、そのような生き方を、自分がするため、そして、自分だけでなく、身近にいる人がそのような生き方ができるよういなるために、死生観を日常で楽しく語れる４１４カードを開発しました。

また、幸ハウスの活動を長く継続していくためには多くのサポーターの存在が必要であるので、今年度は日本緩和医療学会のELNEC-Jの研修に加えて、幸ハウス独自の研修プログラムを開発しサポーター研修を２回開催いたしました。

昨年まで行うことができていなかった研究開発事業は、今年４１４カードの開発を通して、様々な人の死生観のデータを回収することができました。

あゆみはゆっくりではありますが、確実に今年も過去２年とはまた違う方向への成果をあげることができ、運営をつづけていることで、できること、繋がれる対象が少しずつ広がり始めていることを感じます。今後は幸ハウス富士の継続開設と共に、４１４カードの体験会、４１４カードファシリテーター研修会などに力を入れていこうと考えています。

1. 事業実地に関する事項
2. 医療支援事業

患者が治療において、自分らしい意思決定をするために、病院側が行う相談支援や情報提供をサポートする活動

開催場所：幸ハウス富士

実地日時：毎月１回（１−２時間、１２回/年）

従事者の人数：2人

受益対象者の範囲及び人数：病院関係者５人

1. 相談支援事業

患者が感じたこと、思ったことに傾聴し、可能な限り、肉体的・精神的・社会的苦痛へ寄り添い、支える活動、及び、患者が人生の最終段階においてより自分らしく後悔のない選択ができるよう情報提供を行い、相談を受け、サポートする活動。

開催場所：幸ハウス富士

実地期間：２０１９年４月から２０２０年３月（水曜日６−７時間/回、５０回/年）

従事者の人数：2人から３人

受益対象者の範囲及び人数：がん患者そして家族を含めたその関係者　４６４人

1. 研修事業

患者の療養中・療養後に役立つ栄養・運動を始め、より健康に保つための様々なプログラムを提供する活動

開催場所：幸ハウス富士

実地日時：２０１９年４月から２０２０年３月（水曜日２時間/回、５０回/年）

従事者の人数：派遣講師

受益対象者の範囲及び人数：がん患者、がんサバイバー　２６５人

1. 普及啓発事業

優れた医療や療養など、患者が医療や生き方を選択する助けになるような情報をイベントやホームページ、SNS等で提供・発信する活動

* 1. ワークショップや説明会

開催場所：幸ハウス富士

実地日時：２０１９年３月：幸ハウス１周年報告会：５０人

２０１９年５月　　記憶のアトリエ：２０人

　　　　　２０１９年９月　　トークイベント：６人

　　　　　２０１９年１１月　記憶のアトリエ：２０人

　　　　　２０１９年１２月　クリスマス会：３０人

　　　　　２０１９年２月　　富士市社協共催：３０人

開催場所：東京ウイメンズプラザ

実地日時：２０１９年７月

テーマ：　アロマセラピーと幸ハウス　３０名

開催場所：フィランセ西館４階大ホール

実地日時：２０１９年８月

テーマ：大切にしている思いを最期まで大切にする生き方　１００人

開催場所：沼津教育会館

実地日時：２０１９年１１月

テーマ：がんになる前に知っておくこと、映画上映と対話会　５０名

開催場所：ホテルグランド富士

実地日時：２０１９年１２月

テーマ：幸ハウスの活動について：３０名

開催場所：長泉morrisbase

実地日時：２０２０年１２月

テーマ：４１４カード体験会　１２人

開催場所：ちよだプラットフォームスクエア

実地日時：２０２０年２月

テーマ：診断から看取りまで：５０人

開催場所：霞会館

実地日時：２０２０年２月

テーマ：幸ハウスについて　２００人

* 1. 各種情報媒体の活用

インターネット・ソーシャルネットワークサービス（SNS）、

フェイスブック、インスタブラム, twitter, アメブロの定期更新

従事者の人数：2人

受益対象者の範囲及び人数：賛助会員、フェイスブック登録者など　約９０５人

問い合わせ先としてHP作成と定期更新

メディア掲載

２０１９年８月３０日　富士ニュースにて幸ハウス主催講演会の紹介

２０１９年１０月　ソーシャルメディア「オルタナS」にて幸ハウス紹介

　　　　　　<http://alternas.jp/study/global/78618>

２０１９年１０月　情報サイト「Yahoo!ニュース」にて幸ハウス紹介

<https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20191015-00010000-alterna-soci&fbclid=IwAR1b3iVwq_a5fkttjN7Xzw-cXINrbk5E7Y3mNxDAo-iDWDxyvdhn9xg90dY>

２０１９年１１月２９日　VOICE　CUE　FMみしま・かんなみ　FM77.7MHzにて幸ハウス紹介（ラジオ）

２０１９年１２月German Design Award 2020: Excellent Architecture - Architecture部門
"Winner"アワード受賞

[https://www.german-design-award.com/…/26998-sachi-house.html](https://www.german-design-award.com/die-gewinner/galerie/detail/26998-sachi-house.html?fbclid=IwAR3h9qIpFQvzKmYhQ__w4v-8QNomrn0ZoPkua5Pym6l988qq1MYtbCDm1bc)

　富士市の町づくりセンター２６箇所に幸ハウスのパンフレット設置

1. 人材育成事業

患者主体の寄り添い・看取りができる人材を育成するために、医療従事者・ボランティア向けの研修

ELNEC-J

開催場所：幸ハウス富士

実地日時：① ８月２４日、２５日

　　　　　②１１月３０日、１２月１日

従事者人数：1人

受益対象者の範囲および人数：地域内で活躍している医療従事者、サバイバー、サポーターなど　２０人

1. 研究開発事業

患者本人の意思決定支援を基礎として医療を進めていくプロセスや死生観の研究。開催場所：幸ハウス富士

実地日時：２０１９年１２月

グラスゴー大学と静岡大学の共同研究、MITORI Projectチームとの勉強会：１２名

４１４カード開発

病気になる前の段階から日常の中で死生観を語れる仕組みを作る目的で開発しているカード。

開催場所：幸ハウス富士

実地日時：２０１９年３月から２０２０年４月

体験会の実地やアンケートをとおした、死生観に関するデータ回収：１００人